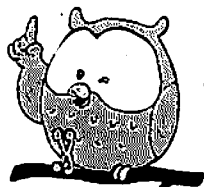


ちえんくま



〒108-0014 東京都港区芝 5-27-5

NPO 法人 トータルライフサポート

TEL 03-3453-6210

FAX 03-3453-6208

【なんで代わっちゃうの?】

先日、ケアマネジャーの O さんから連絡をいただき、おひとりさまの女性 K さん 78 歳のサポートをさせて頂く事になりました。K さんは 20 年前にご主人を亡くし、おひとりで暮らしてきましたが認知症が少し進み在宅での生活が難しくなり、施設への入居を考えるようになりました。

K さんには、同県内に住む姉と妹がいるのですが、海外生活が長かった K さんとは殆ど関わりがなく、しかも高齢で、支援をするのは難しいとの事でした。そこで、身元保証や、財産管理契約と任意後見契約などを私たちと結ぶ事になりました。

早速、K さんと姉妹とケアマネさんと一緒に老人ホームの見学に行き、K さんも納得して、契約となりました。

後日、K さんと一緒に銀行に行き、入居一時金の振込手続きをしてきました。そして貸金庫の中身を確認し自宅に置いてあった多額の現金を貸金庫に預けました。

銀行からの帰り道、K さんは「これからもお願いしますね。もうあなたを信用するしかないのです」と。続けて K さんは「夫を亡くしてから 20 年間ひとりで生きてきました。人を信用することもできず、少しずつ貯金をして老後のお金を蓄えてきました。しかしこうなってしまうと、お金だけあってもしょうがないですね・・・」と。「信用するしかない」の言葉に私は胸が締め付けられる思いがしました。

K さんには 2 つの不安がありました。ひとつは姉妹から「ホームに入居するにあたってマンションを売却したほうが良い」と言われた事です。しかし K さんは気に入っているマンションを売却したくないのです。

そこで私は K さんに「マンションは売らずにおいて、ホームに入居しても居心地が良くなければいつでもマンションに帰れるよう、私たちがサポートいたします」「この先もしお金が足りなくなることがあったときはマンションを売却しましょう」とお話ししました。K さんに笑顔が戻り私はほっとしました。

もうひとつの不安は K さんが有料老人ホームに入居したあとは、ホームのケアマネさんが付くので、現在のケアマネ O さんが関わることができなくなるという事なのです。K さんは今まで、誰にも頼らずにひとりで生きてきて、やっと安心して相談できる O さんという糸を掴んだのに、あっさり切れてしまうのです。

これから先、K さんの様態が急変して緊急入院したり、ホームの中でトラブル等や、「やっぱり自宅が良い」となれば、その手続きも含めて、私たちがご家族の代わりをさせて頂きます。

自宅での生活になれば、もう一度 O さんがケアマネジャーとして関わる事ができます。しかし K さんは施設に入っても今までのように O さんをお願いしたいと思っていますのですが・・・ 三国浩晃